

年は国連が定めた「国際森林年」であり、我が国のメインテーマである「森を歩く」に沿って、各署等で森林ウォーキングや植樹などのイベントを開催し、イベントカレンダーをホームページに随時掲載します。



「森林ふれあい講座」での湿原観察
(名古屋事務所・愛知所)

六 技術の向上

森林に対する多様化・高度化するニーズに対応するため、大学等とも連携して、森林施業技術等の開発・普及や技術の向上のための研修・技術検討会等を実施します。

七 透明性の高い形での国有林野の管理 経営の推進

森林計画の策定における地域に根ざした幅広い情報等の反映や国有林モニター



地域住民との懇談会の開催 (神通川森林計画区・富山署)

制度等を通じた国有林への要請等の反映など、国民の皆さんとの双方向での情報等の受発信により、透明性の高い形での国有林野の管理経営を進めます。

なお、平成二十三年度中部森林管理局事業概要につきましては、HPに掲載しておりますので、詳細についてはそちらをご覧ください。

URL

<http://www.rinyamaff.go.jp/chubu/>

各地からのたより

「戸隠森林植物園」で 小鳥の巣箱かけ

長野市立戸隠中学校

「北信署」四月二十一日、長野市立戸隠中学校の二年生三十三名が、愛鳥週間に先駆け、長野市の戸隠森林植物園で小鳥の巣箱かけを行いました。

この巣箱かけは、同校が「身近な戸隠高原に生息する鳥類に興味を持ち、生態



自作の巣箱を手にする戸隠中学校2年生

について学ぶ」「自然に親しみながら動植物の保護に関して理解を深める」ことを目的として昭和四十八年から実施している伝統行事で、今年度で三十九回目となります。

当日は晴天に恵まれ、春らしい陽気となりました。

生徒たちは、北信署職員から巣箱をかける高さや向きなどについて説明を受けた後、残雪に足をとられながらも一生懸命に林の中を歩き、「この木にしようかな」「こっちの方がいいんじゃないかな」と慎重に選んだ木に、班の仲間と協力して自作の巣箱を針金で固定しました。

同植物園は野鳥の宝庫として知られ、百種類以上の野鳥が観察されています。生徒たちが心を込めて設置した巣箱に、今年もかわいらしい小鳥たちがやってきて、生徒たちだけでなく、同植物園を訪れるたくさんの方々の利用者を楽しませてくれることが期待されます。

「戸隠森林植物園」で

歩道整備ボランティア

長野林業土木協会北信分会

「北信署」四月二十一日、長野林業土木協会東北信支部北信分会会員二十九人が、二日後に開園を控えた長野市の戸隠森林植物園で歩道整備のボランティア活動を行いました。

この活動は同会が社会貢献活動の一環

として平成十八年度より実施しているもので、今年度で六回目となります。

まず最初に、バリアフリー歩道(約二キロ)の左右の支柱にグリーンロープを張りました。当日は暖かい日差しに恵まれたものの、前々日の降雪で歩道の一部には残雪があり、足元の悪い中での作業となりました。グリーンロープは、利用者の転落防止および湿地帯の植生保護を目的に設置していますが、冬期間は積雪によるロープや歩道の損傷を防ぐために取り外しています。

次に、歩道の雪かき、苔落とし等の清掃作業を行いました。歩道の苔は、利用者の転倒や木道の腐朽につながります。参加者はそれぞれスコップやデッキブラシを手にし、丁寧に作業を行っていました。中には汗をかき上着を一枚脱いで作



グリーンロープを張る会員の皆さん



田立の滝開き (安全祈願)

「南木曾支署」四月二十八日に田立の滝開き及び南木曾町・木曾森林管理署南木曾支署合同植樹祭を田立国有林において

田立の滝の滝開きを地域とともに祝う

業を続ける姿も見られました。

この作業は開園準備の重要な作業の一つで、利用者が安全に散策できるように、北信署職員の指導のもと全員で協力して作業を進めました。

これからの時期はミズバショウやリュウキンカが美しく咲き始め、たくさん野鳥の姿も見られるようになります。今年も多くの方々に同植物園の自然を楽しんでいただきたいと思えます。



植樹するみどりの少年団員

て、南木曾小学校みどりの少年団をはじめ、町及び郡内から約百五十名が参加し、イロハモミジとミツバツジの植樹に汗を流しました。

合同植樹祭に先がけて、田立の滝開き安全祈願祭が三年ぶりに行われました。

田立の滝は「日本の滝百選」に選ばれていますが、平成十八年の豪雨災害等により山肌が被害を受け、危険があるため、平成二十年度から二十二年度まで入山禁止にして、復旧治山工事を三カ年にわたり行い、工事が完了したことから、通行規制の解除とともに今年一年間のにぎわいと安全を祈願しました。

植樹祭の式典では、南木曾小学校みどりの少年団の代表二名より「ヒノキの香りが大好き、植樹ができることがうれしい」「植えた木からいろいろな花が咲く

のが楽しみ」等といった作文発表の後、植樹作業が行われました。

今年「国際森林年」の年でもあり、会場にてパネルやのぼりの設置などを行い、本取組みのPRを行いました。

また、植樹祭終了後は南木曾小学校みどりの少年団を対象に森林教室を行い、田立の滝開きを行った田立の滝の自然散策を楽しみました。

これから多くの登山者が田立の滝を訪れることになり、植樹した木々が四季を通じて楽しませてくれます。

今後も地域との協働を継続して一体となつて事業に取り組む考えです。



植樹を終えて (みどりの少年団)

シリーズ 現場最前線

息を合わせて安全作業

〔東信署東部森林事務所班〕東部森林事務所は、長野県東御市の北山、新張山、和山国有林の三、八六〇haを管理しています。管内には、湯の丸山を中心になだらかな台地をなして広がる湯の丸高原があります。六月下旬にはレンゲツツジの大群落が一斉に咲き、また冬は湯の丸スキー場として、多くのハイカーやスキーヤーが訪れています。



境界保全作業中の東部班の2人

現場班は、基幹作業職員一名と再雇用の臨時作業員一名の少人数班ですが、東

部、和田、大門の三森林事務所の部内を事業区域としています。作業内容は、境界巡検をはじめ、収穫調査、森林保全管理、林道維持など多岐にわたっています。特に、国有地に接する箇所は、道路、民有地などが入り組み、境界の距離も長く、境界管理には気を遣っています。

現場作業に当たっては、毎朝、森林事務所に集合して体操を行ったあと、森林官とその日の天候や作業内容に応じた安全作業のミーティングをして、作業の段取り、安全の確認等をしつかり行うようにしています。

これからも災害のない明るい職場作りを目指して、チームワークよく、安全作業に取り組んでいきたいと考えています。



人のうごき

林野庁人事（抄）

五月十五日付

▽五月十五日退職（局企画調整室監査官（伊那谷総合治山事業所長））
渡邊 敬治

林野庁人事（抄）

五月十六日付

▽関東森林管理局森林整備部長（局計画部長） 川野 康朗
▽中部森林管理局計画部長（独）森林総合研究所総合調整室長 宿利 一弥
▽近畿中国森林管理局石川森林管理署長（局北信森林管理署長） 岡 義人
▽中部森林管理局北信森林管理署長（関東森林管理局会津森林管理署長） 嵯峨 端夫

中部森林管理局人事

五月十六日付

▽中部森林管理局出向（飛騨森林管理署流域管理調整官へ）（林野庁国有林野部業務課災害対策班災害調整係長）
日置 順昭

▽岐阜森林管理署総務課付（岐阜署業務第一課長） 所附 泰幸

▽岐阜森林管理署業務第一課長（岐阜署総務課総務係長） 砂留 直浩

▽東北森林管理局出向（米代東部森林管理署上小阿仁支署業務第一課経営係長へ）（富山署業務課付） 鈴木 正晃

行事・会議等の予定

◎会計実地検査

6月6日～10日 局ほか

◎名古屋シティ・フォレスター事業

6月8日 岐阜署管内

◎森林ふれあい講座

6月11日 愛知所管内

◎長野県植樹祭

6月11日 長野県塩尻市

◎流域管理調整官会議

6月21日・22日 木曾署管内

▽中部森林管理局計画部計画課長（近畿中国森林管理局計画部計画課長）
山口 輝文

川浪亜紀子

▽林野庁国有林野部管理課監査官（東北森林管理局森林整備部（宮城北部署駐在）兼任）（局計画部計画課長）

小森 哲也

▽東北森林管理局計画部流域管理指導官（中部森林管理局企画調整室付）

▽中部森林管理局企画調整室監査官（伊那谷総合治山事業所長）（局森林整備部付（名古屋事務所）） 水野 拓郎

ふう けい き こう
風景紀行
越中八尾
 73
 富山森林管理署
 (各署の景勝地等を紹介)

おわら風の盆と白木峰

〔富山署〕富山市八尾地区(旧八尾町)市街地は、富山県のほぼ中央に位置し、古くは「富山藩の御納戸」と称されるほど豊かな町で、飛騨との交易や越中売薬などで栄えてきました。町内には、江戸



おわら風の盆

時代のたたずまいを残す古い町並みがあり、諏訪町通りは日本の道百選に選定されています。また、町並みを歩くと道の両側には火防・流雪用水路「えんなか」と呼ばれる用水があり、水の奏でる音は、日本の音風景百選に選定されています。この八尾地区では、毎年九月一日から三日にかけて全国から二十万人以上の観光客が訪れる「おわら風の盆」が開催されます。この祭りが行われる二百十日の前後は、台風が来ることが多く、昔から収穫前の稲が風の被害に遭わないよう、豊作祈願が行われ、この祭りが「風の盆」と言われていたそうです。

踊り手たちが洗練された踊りを披露し、越中おわら節に哀調ある胡弓の音色が添えられ、来訪者を魅了します。

八尾地区の南部、岐阜県飛騨市河合との県境には野積国有林があり、白木水無県立自然公園に指定されています。白木峰の山頂一帯は、ゆるやかな起伏の草原で散策道が整備され、ハイキングや自然観察を楽しめます。ニッコウキスゲ、コバイケイソウ、イワイチヨウなどの高山植物が開花する六月中旬から七月中旬頃が一番の見頃です。山頂から木道を歩いていくと高層湿原(池塘)を見ることが出来ます。一の池、二の池、三段の池、消滅の池があり、木道の終点には「浮島の池」と呼ばれる池塘があります。

白木峰の標高は一、五九六メートルあります



白木峰から浮島に至る登山道(野積国有林)

が、標高一、三五〇メートルに駐車場があり、山頂までは一時間ほどで行くことができます。



浮島の池(野積国有林)

◆アクセス

八尾市街へは、富山ICから車で三〇分

白木峰登山口駐車場までは、八尾町市街地から車で五〇分

【周辺散策】

八尾市街

坂の町美術館、越中八尾観光会館(曳山展示館)、八尾おわら資料館

白木峰周辺

仁歩ほたるの里、大長谷(おおながたに)温泉、杉ヶ平キャンプ場、二世紀の森など